

講習の名称：からだ・気づき・対話の鑑賞教育

担当講師：郡司 明子（教育学部准教授）

講習開講日：平成 30 年 12 月 25 日（火）

時間数：6 時間

主な受講対象者：幼稚園教諭，小学校教諭，美術科を担当する中学校・高等学校教諭

キーワード：身体性・協同性・即興性・対話型鑑賞・パフォーマンス鑑賞劇

講習の概要：

からだ・気づき・対話を重視した鑑賞（表現）教育について実践的に学びます。今、教育現場で求められている鑑賞活動の前提となる学習観の変遷をおさえた上で、対話型鑑賞：VTS（visual thinking strategies）の基本的な内容や身体性を伴う鑑賞活動のあり方等を紹介し、実際にパフォーマンス鑑賞劇（表現）にチャレンジしてみます。幼児の表現領域から主に図工・美術の授業づくりに対応しつつ、アクティブ・ラーニングに即した講習内容になっています。

講習の展開：

- 第 1 時限 子どもとひらく鑑賞活動への誘い
- 第 2 時限 からだ・気づき・対話の鑑賞教育とは？ VTS 実践
- 第 3 時限 パフォーマンス鑑賞劇づくり
- 第 4 時限 発表・鑑賞会

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

受講日当日に扱う美術作品を事前にお知らせします。予め可能な範囲で作品について調べて臨むようにお願いします。身体性、協同性、即興性による表現活動を重視したワークショップ形式の講習です。

授業の形式： ワークショップ・講義

履修認定試験： 論述形式の筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。

テキスト・参考文献：

◎テキストとして以下の書籍を使用しますので、必ず一読してきてください。

①フィリップ・ヤノウイン著

『どこからそう思う？学力をのばす美術鑑賞ヴィジュアル・シンキング・ストラテジーズ』  
京都造形芸術大学 アートコミュニケーション研究センター 平成 27 年

②森村泰昌『踏み外す美術史』講談社現代新書 1998

◎参考文献

アメリカ・アレナス著 『みる・かんがえる・はなす』淡交社 2001

上野行一監修『まなざしの共有 アメリカ・アレナスの鑑賞教育に学ぶ』淡交社 2001